

# 京都橘大

3/30~

# 新拠点堂々開設

## 山科区と連携

京都橘大は3月30日、サテライト・ラボラトリー「たちラボ山科」をJR山科駅前の商店街に開設し、開所式を行った。たちラボは、地域との交流や学生の活動支援のための拠点として使われる予定だ。

たちラボ開設のきっかけは、京都市が地域連携を通じた教育プログラムの開発・実施に取り組む大学を支援する「学まち連携大学」促進事業に京都橘大が採択されたこと。同大と山科駅周辺は、毎年開催されている明かりのイベント「やましな駅前陶灯路」で大学が主催に名を連ねるなど、深い交流があるという。たちラボの開設で、大学と山科区との一層の連携を目指す。

式には、同大の細川涼一学長や京都市の藤原正行総合企画局長、堀池雅彦山科区長らが参列。細川学長はあいさつで「誰でも気軽に立ち寄れるように」という意味を込めた「たちラボ」の由来を紹介。あいさつの最後には「たちラボを拠点として学生や教職員が地域の活性化に貢献し、学生の実践的な学びの機会をつくってほしい」と今後の抱負を話した。

京都橘大の担当者は、たちラボの利用に関して「具体的にどう使うのか、あえてあまり明らかにしていない」と話す。その上で、学生や教職員が地域のイベントに参加する際の拠点としてだったり、地域住民向けのイベントを開くための場所としてだったり、とさまざまな使い方を想定しているという。担当者は「(こちらの想定にとどまらず)学生と地域の人が化学反応を起こして、何か新しいことを生んでほしい」と期待を口にした。

4月21日にはたちラボの開設を記念して、狂言師の茂山良暢(よしのぶ)さんによる「狂言とワークショップのタベ」を京都市生涯学習総合センター山科(アスニー山科)で開催する。(聞き手=前山幸一)

## 開所式のテープカットの様子



左から細川涼一学長、武村タツ江さん、藤原正行京都市総合企画局長、堀池雅彦山科区長(撮影=前山幸一)

## UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>  
■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F  
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (E-MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)

## FOCUSは

京都大学 CLOCK 編集部  
大阪大学 POST 通信社  
神戸大学ニュースネット委員会  
関西大学タイムス編集部  
関学新月通信社

同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
京都女子大学藤花通信編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

発行日2017年4月3日  
(C) UNN 2017 毎週月曜日発行

# FOCUS vol.349